

5 実践指導事例

	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動	教 師 の 手 だ て ・ 評 価
1次	<p>1 「故郷」の全文を通読し、内容のあらましをとらえる。</p> <div data-bbox="448 371 786 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>長い小説なので、すぐにあらすじをまとめておくとう便利。</p> </div> <p>2 現実の場面と回想の場面を確認する。</p> <p>3 登場人物を確認する。</p> <div data-bbox="363 663 761 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【参 考】 アニメーションを使って人物像とあらすじをつかむ方法</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、語句についてはワークブックで事前に学習させておく。 ・長い小説なので、通読しながらあらすじをとらえるためのプリント（<u>ワークシート</u>）を用意し、書き込ませる。 ・現実の場面と回想の場面の変わり目となる箇所を確認し、出来事や時間の推移などに注意しながらあらすじが正確にとらえられるように支援する。 ・登場人物を確認し、それぞれの結びつきについてとらえさせる。 <div data-bbox="839 696 1465 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>作品を通読し、内容を整理して構成をとらえている。【読む：ワークシート】</p> </div>
2次	<p>4 第一・二の場面を読み、「わたし」はどんな目的で、どんな思いで故郷に帰ってきたかを想像する。</p> <div data-bbox="336 1048 761 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「わたし」の故郷に対する特別な思いと、現実の故郷の姿との大きな違いを読み取らせた。</p> </div> <p>5 第三・四・五の場面を読み、ヤンおばさんとルトウの変化をどのように表現しているかを抜き出す。</p> <p>6 二人の変化の理由を考える。</p> <div data-bbox="309 1644 761 1821" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>当時の社会状況が「わたし」と二人の間に「悲しむべき厚い壁」をつくってしまった。なぜ、「悲しむべき」なのかを考えさせた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷の様子の描写と「わたし」の心情がかかわるものとして、次のような描写に注目させたい。 「もう真冬の候であった。」 「空模様は怪しくなり...吹き込んできた。」 「鉛色の空の下、わびしい村々が...横たわっていた。」 「屋根には一面に枯れ草のやれ茎が...解き明かし顔である。」 「ひっそり閑としている。」 ・心情と重ねるために、次のような表現に注目させたい。 「寂寥の感」 「今度の帰郷は決して楽しいものではないのだから。」 「母は...やるせない表情は隠し切れなかった。」 ・「かつてのヤンおばさん」と「現在のヤンおばさん」、「十一・二歳のルトウ」と「現在のルトウ」を比較し、そこから分かることをまとめさせたい。（<u>ワークシート</u>） ・手がかりとして次のようなことを考えさせる。（<u>ワークシート</u>） ア ヤンおばさんに代表されるような、当時の中国の民衆の精神的荒廃。 イ ルトウの「だんな様！」という言葉に見られるように、身分の違いを厳然として認める社会のありよう。 ウ 外国からの搾取や国内の役人の腐敗などによって貧しさがますますひどくなっている社会の状況。 <div data-bbox="839 1890 1465 2063" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>風景や人物の描写に着目して読み、主な登場人物の変容や生き方、その背景にある社会状況をとらえている。 【読む - ア：ワークシート2、ノート、】</p> </div>

	<p>7 ルントウと「わたし」の再会の場面で、ルントウの「だんな様！」に象徴される心情を考える。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">ルントウと「わたし」の細かな表情を実演することで、二人の苦悩を想像させた</p> <p>8 第六の場面を読み、「わたし」がどのような思いを抱いて故郷を離れようとしているかを想像する。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">「希望」という言葉に「どきっとした」理由を考えさせた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「だんな様！」の一言に象徴されるルントウの心情とそれを聞いたときの「わたし」の心情を考えさせる。(ワークシート) ・ルントウの外見、表情、行動や会話等から、読みとれる状況を感じ取らせたい。 ・この時代の人々を取り巻く状況や現在のルントウについて、「わたし」はどのように感じているかを考えさせたい。 ・思い出の故郷を失ったことに絶望しながらも、ホンルやシュイションのような若い世代に希望をたくそうとしている「わたし」について考えさせる。 ・「わたし」が、自分の望む新しい生活とはルントウの偶像崇拜と同じであることに、どのように気づき、どう考えを変えたかを考えさせる。 ・「もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」という最後の文に込められた魯迅の思いを考えさせる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: magenta;">風景や人物の描写に着目して読み、主な登場人物の変容や生き方、その背景にある社会状況をとらえている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【読む -イ：ワークシート、ノート、</p>
3次	9 「魯迅の生きた時代の中国」について、資料をもとにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「藤野先生」を読んで、魯迅が中国のおかれている状況をどう認識し、どう考えたかをまとめさせる。 ・図書館や資料集を活用し、作者や作品、当時の中国の状況などについて調べさせる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: magenta;">作品の背景にある当時の中国の社会状況に関心を持って調べ、それを結びつけて考えることによって、作品をより深く理解しようとしている</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【関心・意欲・態度：自己評価表、<u>ワークシート</u></p>
4次	<p>10 文章中の優れた表現技法に着目する。</p> <p>11 「故郷」を読んで、登場人物がそれぞれの状況の中でどう生きたかを読み取り、魯迅の思いについて感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の特徴として次のようなものをあげたい。 風景の描写が社会状況や登場人物の様子に対する比喩となっている。 人物の外見の描写が、その人物の精神の変化や時代状況の変化への比喩となっている。 会話の中に「・・・」が多く使われ、話し手の沈黙、言葉にならなかった部分の重さを表現している。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: magenta;">風景や人物の描写、比喩表現の優れた部分を指摘し、それらの効果について理解している。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【言語事項：自己評価表、ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の近代化に一生を捧げた魯迅の生き方・考え方について、感想をまとめさせたい。 ・作者の考える社会のあり方・人間の生き方に対する 自分自身の考え をじっくり考えさせたい。

		<p>作品の主題や魯迅の思いをとらえ、社会のあり方や人間の生き方について考えを深めている。</p> <p>【読む】：ワークシート、自己評価表】</p>
5次	<p>12 「故郷」「二つの悲しみ」「お辞儀するひと」のそれぞれの状況をまとめ、共通点を考える。</p> <p>13 自分の状況を考え、一行の詩で表現する。</p> <p>14 <u>一行詩を発表し、クラスの詩を作る。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの作品の状況を、再度まとめるとともに、共通点を考えさせる。(ワークシート) 作品の登場人物から、特に印象的な一人を選び、「もしそれが自分なら・・・」という思いを書かせる。(ワークシート) 今現在の自分の状況を考えさせ、短い言葉(一行詩)で表現させる。(ワークシート) 一行詩を各自に発表させ、それをつなぎ合わせて、クラスの詩(状況詩)を作らせる。